

令和 7 年度

事業報告書

社会福祉法人 南伊豆町社会福祉協議会

令和7年度社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会事業実績報告書

(1) 事業概要

急速に進む高齢化社会への対応として、高齢者の保健福祉・介護予防の推進、ボランティア活動の推進、社会福祉に対する人材確保、障害者の自立促進など、あらゆる面で事業の構築がなされている。これらのことを考え合わせると社協として取り組むべき事業は住民や当事者の協力が得られ、ニーズに合ったもので、協働性や専門性のあるものが挙げられる。事業推進のためには、各種の公的福祉サービスを積極的に受託し、それらを民間の立場から柔軟に運営しつつ、公的サービスでは対応できない多様なニーズにも対応できる事業を開発し、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、素早く確実に問題解決につなげる必要がある。

令和7年度は、緊急小口資金特例貸付の償還期限が到来したが、今なお生活再建に至らない世帯に対し、食糧支援、生活相談等の支援を行った。また、高齢者への生活支援事業においては、外出ボランティアの拡充を図るため運転ボランティア講習を実施し、高齢者が安心して地域で生活が続けられるよう体制づくりを行った。

(2) 事業内容

1 理事会

- 第1回 健康福祉センター(6月6日)
- ・令和6年度事業報告・決算について
 - ・令和6年度善意銀行決算について
 - ・令和7年度補正予算について
 - ・評議員候補者の選任について
 - ・役員候補者について
 - ・評議員会の招集について

- 第2回 健康福祉センター(1月22日)
- ・定款の一部変更について
 - ・上半期収支状況について
 - ・令和7年度補正予算について
 - ・評議員候補者の選任について

- 第3回 健康福祉センター(3月19日)
- ・令和7年度補正予算について
 - ・令和8年度事業計画・予算について
 - ・令和8年度善意銀行予算について
 - ・評議員会の招集について

2 評議員会

- 第1回 健康福祉センター(6月23日)
- ・令和6年度事業報告・決算について
 - ・令和7年度補正予算について
 - ・役員の選任について

- 第2回 健康福祉センター(1月30日)
- ・定款の一部変更について

- ・上半期収支状況について
- ・令和 7 年度補正予算について
- ・評議員候補者の選任について

第 3 回 健康福祉センター（3 月 27 日）

- ・令和 7 年度補正予算について
- ・令和 8 年度事業計画・予算について

3 監事の監査

- ・決算監査 令和 7 年 5 月 23 日（金）健康福祉センター
- ・中間監査 令和 7 年 12 月 19 日（金）健康福祉センター

4 居宅介護事業

訪問介護は常勤ヘルパーと登録ヘルパーで在宅介護の援助を行い、障害者に対する居宅介護サービスも実施した。

- 訪問介護 延 250 人 1859 回（前年 219 人 1804 回）
- 障害者居宅 延 73 人 309 回（前年 63 人 292 回）

5 心配事相談所の開設

- （1）開催期日 毎月 15 日 午前 9 時から午後 3 時
- （2）開催場所 南伊豆町健康福祉センター
- （3）相談員 福原ふくよ 大島明利 平山さち子
黒田三千弥 山田昌平 佐藤玲子
- （4）身障相談員 竹河十九巳

6 寿大学の開催

老人クラブ指導者層及び会員を対象に寿大学を開講し、高齢者の教養を高めるとともに生きがいの基本を養成した。

6 月 17 日	「傘寿 2 人が地震を語る」 渡辺力 氏 萩原作之 氏
7 月 30 日	「町政報告」南伊豆町長 岡部克仁 氏
9 月 24 日	「警察行政から見た南伊豆・住民から見た南伊豆」下田警察署長 高橋宏文 氏
10 月 29 日	「消滅可能性自治体の報告について」元静岡県副知事 土屋優行 氏
12 月 24 日	「悪質商法と契約トラブル」 東部県民生活センター 田中英史 氏
1 月 27 日	日帰り研修旅行 小室山・来宮神社
2 月 20 日	「町の介護予防事業について」包括支援センター所長 服部恵万 氏
3 月 24 日	「防災講座 まず自らを守る」町防災課 桑原信孝 氏

7 老人給食サービス事業

各地区の公会堂、いこいの家等を利用して15地区で実施。

開催月日	地 区	参加人数	開催月日	地 区	参加人数
6月13日	蛇石・上賀茂	34	12月11日	下賀茂・湊	46
10月17日	手石・毛倉野・下小野	43	1月20日	二条・市之瀬	39
11月7日	石井・中木	32	2月13日	下流	56
11月11日	青市・吉祥・加納	28			
合 計					278

協力者 JA 富士伊豆ボランティアグループ「ゆけむりの会」

8 ボランティア育成事業

(1) ボランティア活動保険への加入220名（災害ボランティア保険42名）

(2) 災害ボランティア

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会と協力し事業を実施。毎月1回定例会を開催。

6月30日 焼津市防災学習室日帰り研修

9月8日 講話 「発災時の災害ボランティアコーディネーターとしての心構え」
講師 河津桜ボランティアセンター代表 玉木優吾 氏

11月9日 災害VC養成講座（受講者3名）

11月22日 「The 防災 In 南伊豆」

災害時の町の体制について

松崎町災害VC開設から見た地域との繋がりについて

9 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会より貸付事務の一部を受託し、低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対する生活福祉資金貸付事業を実施した。

（3月末時点貸付件数）

生活福祉資金貸付件数 2世帯2件 260万円

緊急小口資金特例貸付 16件 211万円

総合支援資金特例貸付(延長・再貸付含む) 17件 740万円

10 日常生活自立支援事業

生活支援員を配置し、認知症高齢者、障害者の権利擁護のための日常的金銭管理、福祉サービス利用援助事業を実施した。

令和7年度利用者数 1名 支援回数延べ 12回

1 1 募金活動

(1) 赤い羽根共同募金

募金実績	戸別募金（34区）	1, 0 0 6, 5 0 0 円
	街 頭	1 3, 9 2 6 円
	その他	1 6, 9 7 4 円
	合 計	1, 0 3 7, 4 0 0 円

(2) 歳末助け合い募金

募金実績	戸別募金（34区）	1, 0 0 0, 5 0 0 円
	個人募金・その他	2 1, 9 6 0 円
	合 計	1, 0 2 2, 4 6 0 円

* 歳末助け合い運動配分内訳

使 途	対象人員	配分額
低所得世帯	15世帯	225, 000円
寝たきり高齢者	5人	25, 000円
重度障害者	36人	108, 000円
施設入所者	99人	297, 000円
合 計		688, 000円

1 2 生活困窮者自立相談支援事業

県内12町社協、県社協、NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡とふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムを結成し、引きこもりや低所得者の生活、就労に関する相談支援事業を実施した。

令和7度新規相談受付件数 14件

1 3 生活困窮世帯学習支援事業

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、生活困窮世帯の子どもの学習能力、学習意欲の向上を促進することにより、生活困窮世帯の子どもの自立促進を図った。

夏季5日間 延28人参加 冬季3日間 延24人参加
平日35日間 延265人参加

1 4 居場所「にじいろ」の運営

子供からお年寄りまで自由に集える場として、下賀茂の空き店舗を利用し実施。

開催日 毎週水曜日
時 間 午後2時から午後4時
開催回数 45回 延195人参加

1 5 成年後見事業

賀茂地区 1 市 5 町社会福祉協議会で成年後見業務協定を締結し、市民後見人養成講座を開催した。法人後見への取り組みも推進し、後見類型 3 件、保佐類型 2 件を受任し後見業務を行った。

また、成年後見制度に関する広報、啓発活動や、制度に関する相談への対応を行った。

1 6 生活支援・外出支援事業

日常生活で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実強化を図った。

(1) 個人ボランティアによる支援

年間活動日数 2 4 3 日 利用延べ人数 6 2 1 人 (実人数 3 3 人)

目的 買い物(4 3 0 回) 通院(1 1 9 回) 金融機関(1 1 0 回) 役場(1 7 回)
生活支援(7 4 回) その他(6 回)

(2) なのはな号による支援

年間活動日数 4 9 日 利用延べ人数 1 6 5 人(実人数 4 人)